

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環 境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			国の基準よりも室内は広い。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の基準に基づき配置している。 職員の急な休みの時には、グループ内の他事業所から応援をもらい、対応することもある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			段差や階段はない。 室内は整頓しており、情報量をコントロールしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業 務 改 善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修の機会を設けている。 月に1回以上研修を行っている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			サービス等利用計画に沿って保護者の希望とご利用者の発達状況に合わせて作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ニーズ表とアセスメント表に毎年保護者にご記入頂いている。必要に応じて検査を勧めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画に沿って、活動を提供している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			グループ内の他事業所とアイデアを共有している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間計画を立て、その日の利用者の状態に合わせて活動を計画している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に、周知している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時に、振り返りを行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画に基づき、記録にとっている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			面談や電話等で、保護者から家庭での様子を聞き取り、定期的にモニタリングを行っている。
関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要時に連携している。
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在、該当者の利用はない。
	㉔	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在、該当者の利用はない。

との連携関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要時に連携している。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要時に連携している。希望があれば、移行シートに記入している。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修の案内を行っており、希望者は参加可能。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	グループ内の保育園と交流する場を設けていく予定。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	自立支援協議会の議事録を読み、情報収集している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や必要時は電話などで保護者と連絡をとり、情報共有を行っている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			保護者からの希望に合わせて面談を行い、対応方法などを一緒に考えさせて頂いた。
保護者への	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③⑭	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に面談の機会を設けている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			就学に関する保護者向けの勉強会や、性教育に関する保護者向けの勉強会を行い、交流する機会を設けた。

説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			出来るだけ、待たせることがないように連絡させて頂いている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ぐんぐん発表会や作品展等ご招待を行った
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			職員研修を行っている。また、活動時に避難訓練を行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時に確認し、職員に周知している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から聞き取り、希望に合わせて対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日、振り返りを行い、ヒヤリハットを共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に2回研修を行っている。職員のセルフチェックを実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			研修で事例を出し、統一した支援を行っている。個別支援計画に記載している。